

34. 小児血液腫瘍

×

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
※別紙5に入力した内容が反映されています。
※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
○:あり ×:なし

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日										各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門としている 医師数	状況	化学 療法	移植		放射線療法				ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
						自家末梢血幹細胞移植	血縁者間同種造血幹細胞移植	非血縁者間同種骨髓移植または臍帯血移植	体外照射	全身照射		治療内容	治療実績	医師の 専門 分野	
1				状況								ア http://			
												イ http://			
2				状況								ア http://			
												イ http://			
3				状況								ア http://			
												イ http://			
4				状況								ア http://			
												イ http://			
5				状況								ア http://			
												イ http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:急性リンパ性白血病、急性骨髓性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髓性白血病、骨髓異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫